

飯山線みどころマップ

「日本のふるさと」を見つける旅



飯山線沿線地域活性化協議会

長野県地域発元気づくり支援金活用事業



飯山線観光列車

"OYKOT"



コンセプト

「おいこつと (OYKOT)」は、飯山線を走る観光列車です。この名前は「TOKYO」を逆に並べた言葉で、都会の喧騒を離れて、自然豊かな地域を旅しながら、くつろぎのひと時を過ごせるように設計されています。



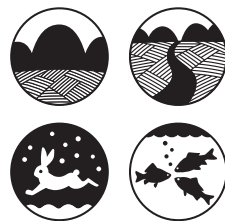
車両デザイン

車両は、日本の伝統的な民家をイメージしています。襖や障子などのデザインを取り入れ、車内には懐かしい柄をあしらうなど、「おばあちゃんの家」のような温かく落ち着いた雰囲気を感じられます。車窓からは、今も自然と共に暮らす民家の風景を楽しむことができます。



「ふるさと」のモチーフ

沿線地域である中野市出身の作詞家、高野辰之が作詞した有名な唱歌「ふるさと」には、「山」、「川」、「兎」、「小鮒」など、日本の田舎を思い起こさせる言葉が綴られています。おいこつとでは、この曲に描かれた情景をイラスト化し、車体や車内のランプなどにデザインを使用しています。



「すげ」(ぼうし)で記念撮影

すげぼうしは、沿線の雪深い地域で雪よけとして使われてきた伝統的な頭巾です。材料の「すげ」はイネ科の植物で、しなやかで強い繊維を持ち、水にも強いため、この地域の湿気を含んだ雪から身体を守るのに適しています。車内では、このすげぼうしをかぶり、記念撮影を楽しむことができます。



千曲川
(信濃川)



日本一の河川

千曲川は全長367kmに及ぶ、日本で一番長い河川です。飯山線の多くの区間が千曲川と並走しており、車窓からは雄大な川の流れとともに、周囲の山々や集落の美しい景観を楽しむことができます。



地域によって名前が変わる?

この河川は長野県から新潟県へと流れており、県によって名称が異なります。長野県内では「千曲川」、新潟県内では「信濃川」と呼ばれています。「千曲」は「千にも及ぶ(多くの)曲がりくねった流れ」を意味し、川が蛇行している特徴に由来します。一方、「信濃」はかつて長野県を指していた呼称であり、「信濃国から流れる川」として名付けられました。

人々の暮らしと千曲川

千曲川は、古代から流域の人々の暮らしと深く関わってきました。特に、その水は農業用水として利用され、稲作を支える重要な役割を果たしてきました。近年では、クリーンエネルギーである水力発電にも活用されており、豊富な水量を利用した発電が行われています。飯山線の前身である「飯山鉄道」の敷設(1917～)においては、水力発電所の建設資材を運搬する目的で電力会社からの投資がなされ、これが重要な資金源となりました。



Trivia

現在も、西大滝駅近くに位置する「西大滝ダム」から取水する「信濃川発電所」が稼働しており、その累計発電量は日本一を誇ります。



1 果樹園 (替佐駅周辺)



この地域は豊かな自然を活かしたフルーツ栽培が盛んで、果樹園が多く広がっています。特にりんごやぶどうの名産地として知られ、全国へ出荷されています。夏から秋にかけて様々なフルーツが実り、もぎ取り体験を楽しむこともできます。

3 田んぼ (信濃平駅周辺)



信濃平駅周辺には、広々とした田園風景が広がっています。初夏には田植えが進んだ水田が緑色に輝き、秋には黄金色の稲穂が美しい景観を作り出します。この地域は稲作が盛んで、山から流れる豊富な雪解け水や昼夜の寒暖差といった自然条件が、良質な米の生産を支えています。

5 栄大橋 (横倉駅～森宮野原駅間)



森宮野原駅から徒歩約15分の場所にある栄大橋は、飯山線の人気撮影スポットです。橋の上からは列車と信濃川が並走する雄大な風景を見下ろすことができ、季節ごとに変化する景色も大きな魅力です。※交通量が多い場所となりますのでご注意ください。とともに、三脚等を使用しての撮影はご遠慮ください。

7 信濃川ビューポイント (越後鹿渡～越後田沢間)



越後鹿渡駅～越後田沢駅間の橋梁は、飯山線で唯一信濃川を横断するスポットです。車窓から広がる雄大な川面と美しい山々の風景は圧巻です。



2 からくり時計 (飯山駅)



飯山駅の駅舎内にある「からくり時計」では、長野県の無形民俗文化財である「五束太々神楽」が、1時間毎に時計内の人形によって披露されます。神楽とは、神様への感謝を表し五穀豊穡を願うための舞いや音楽のことです。沿線地域では、こうした祭りの文化が今も大切に受け継がれています。



4 野沢温泉道祖神 (戸狩野沢温泉駅)



戸狩野沢温泉駅のホームに置かれた「道祖神」は縁結びの神様です。野沢温泉村では毎年1月に「野沢温泉道祖神火祭り」が開催されます。この祭りでは、村民たちが高さ約10メートルの社殿を巡り、火を使った激しい攻防戦を繰り広げます。最後に社殿が炎に包まれる様子は圧巻で、「日本三大火祭り」の一つとして知られています。



6 日本最高積雪地点の標柱 (森宮野原駅)



森宮野原駅の線路脇に立つ標柱には、昭和20年に積雪が7.85メートルに達したという歴史的な記録が刻まれています。周辺地域は日本有数の豪雪地帯として知られ、雪と共に暮らす人々の知恵と工夫が今も受け継がれています。



8 「Kiss & Goodbye」 (土市駅～越後水沢駅)



土市駅～越後水沢駅には「大地の芸術祭」のアート作品「Kiss & Goodbye」(ジミー・リャオ(幾米)/台湾)が展示されています。大地の芸術祭は2000年に新潟県の越後妻有地域を舞台に開始され、里山の豊かな自然と地域文化をテーマに国内外のアーティストが制作した、独創的で魅力的な作品群を楽しめる現代アートの祭典です。※公開休止期間あり



photo by Ishizuka Gentaro

アイコン凡例



下車して見るもの



車窓から見えるもの

観光情報はデジタルパンフレット
「iisen」をご覧ください→

